

おやま 小山地区民有林直轄治山事業

当地区は、静岡県北東部（小山町）に位置。富士山の火山噴出物であるスコリアが厚く堆積し、土壌の固結度が弱く侵食されやすい地質のため、豪雨時等に山地災害が発生しやすい特徴。平成22年9月の台風第9号に伴う集中豪雨では、大規模な崩壊地が多数発生し、大量のスコリア土砂が流出、甚大な被害が発生。平成23、24年の台風及び集中豪雨等により崩壊地が著しく拡大。

当地区の荒廃地の復旧対策は、規模が著しく大きく、スコリア土壌の特性を踏まえた高度な技術を必要とすることから、静岡県等の要望を受けて、平成27年度より民有林直轄治山事業に着手。

被害状況



平成22年9月の台風第9号に伴う小山町内の様子

荒廃状況



北郷区域 荒廃状況(角取山工区)



角取山工区 崩壊状況

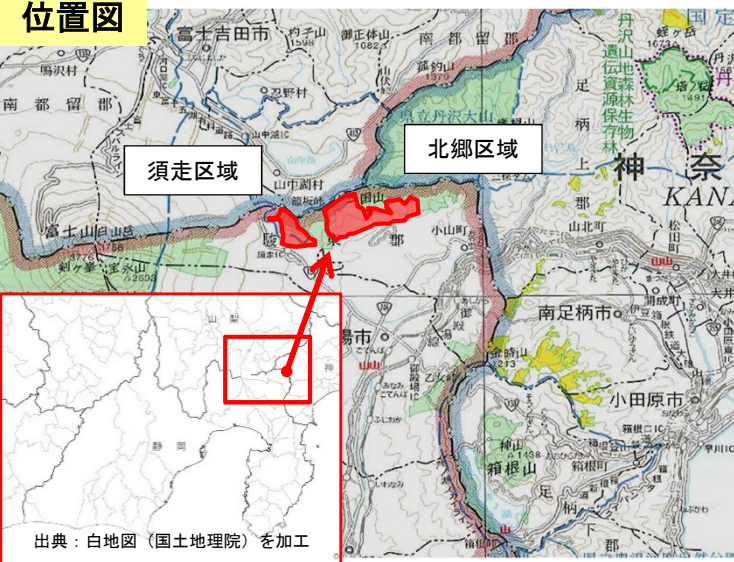
【予算措置状況】

R4当初予算	: 779百万円
R4補正予算	: 325百万円
R5当初予算	: 859百万円

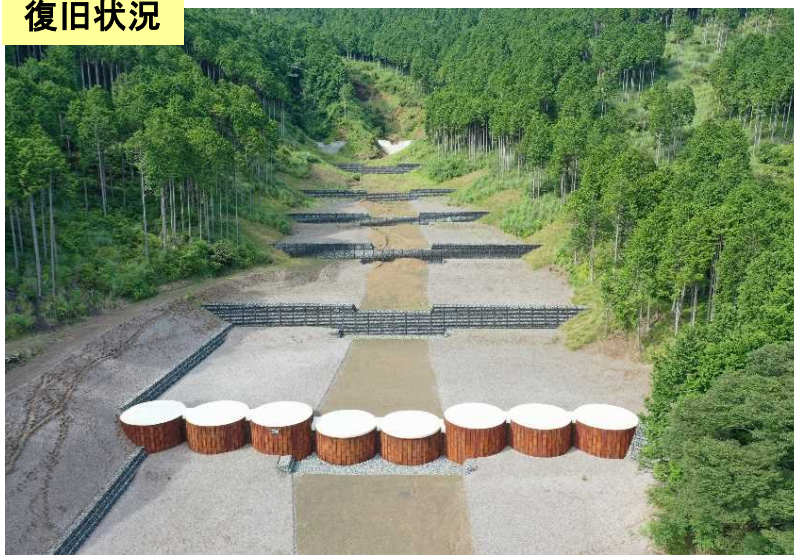
【令和5年度主要工事計画】

溪間工	14基
山腹工	1.6ha

位置図



復旧状況



【主な保全対象】

人家	198戸
事業所等	30箇所
国県道	4.5km
市町村道	15.0km